

静岡県実行委員会選出 オリンピック聖火ランナー 一覧

●走行予定日：【1日目】2021年6月23日（21人）

※走行予定日ごと氏名50音順・敬称略

フリガナ 氏名	年齢 (4月末現在)	ゆかりの ある市町	走行予定 市町	自己PR・応募動機 (※応募時文章を要約。2019年応募時の内容・文体に基づく。)
イケモト ユメミ 池本 夢実	24	川根本町	島田市	私は高校までの18年間を川根本町で過ごし、大学入学のため沖縄で一人暮らしをすると同時にボクシングを始めた。大学2年の時にテストに合格しプロボクサーとなり、現在世界ランキング5位である。小さな町からでも自分次第で世界に羽ばたく人間になれるということを自分の経験から町の子供や皆んなに伝えたい。
イチカワ アヤコ 市川 綾子	90	静岡市	静岡市	現在、89歳。オリンピックの年には90になります。戦争を経験している世代はだんだんと少なくなりました。静岡大空襲を無事に生き延び、今もまだ、おかげ様でこうして生かされていますので、静岡からも、平和の尊さを伝えるために、走りたいと思います。
オオスカ フミコ 大須賀 史子	25	袋井市	袋井市	現在袋井市で小学校の教員をしています。海外の学校や孤児院の子供たちと自分の学校の子供を繋げたい、将来共生していく力をつけてもらいたい、楽しく生きてもらいたい、そんな思いで毎日子供達と接しています。今回自分が走り、自ら世界と袋井市をつなぐ役割をすることで子供たちが世界へさらに視野を広げてくれると思います。
オオタ コナツ 太田 小夏	35	浜松市	浜松市	私の肝臓と腎臓のドナーであり障害者になった娘を心配してくれる母を安心させたい、臓器移植のレピシエントとして走ることで、ドナーカードの普及の力になりたい、これから移植を受ける人に少しでも希望を持ってもらいたい。最近是在宅での仕事だけでなく週に一〜二回の出勤のある仕事をするなど挑戦を始めることができているので次は200m走ることを目標にしたい。
カメヤマ ノゾミ 亀山 希	24	島田市	島田市	私は、中学校で陸上競技に出会ってから体育教師になることが夢です。今年の春から島田市立伊久美小学校で支援員として働く中で、私の頑張りや走りが誰かに影響を与えることができるんだと初めて気がつきました。伊久美小学校、島田市の子供達がスポーツやオリンピックに興味を持ち、努力する事、夢を持つ事の大切さを感じてくれればいいなと思います。
キムラ タエコ 木村 タエコ	21	湖西市	湖西市	8歳のときに日本にきました。日本語がわからないまま小学校に入学していっぱい苦労しましたが、6年生で柔道をやり始めてから私の人生が変わりました。中学生のときははじめが理由でほぼ毎日休んでいましたが、高校生のときには部活で頑張っていた柔道で湖西市代表として3回全国大会に出ました。湖西市民としてまた誇りを持ちたいし、今いじめられている人にちょっとした勇気をあげたいです。
クレ アコ 呉 阿古	67	湖西市	湖西市	1932年ロスアンゼルスオリンピック競泳で金メダルを2個獲得し、その生涯を止まる事なくオリンピックに捧げている父を見て育ちました。湖西市は父が生まれ、父が愛し、そして、現在でもスポーツ関連施設でのご縁があるところです。聖火ランナーとして走ることは、父から託された私の使命であるようにも感じています。
コクブン リョウヘイ 國分 遼平	13	静岡市	静岡市	ぼくは予定より3か月早く、828gと小さく生まれたため、様々なハンディを乗り越えてきました。ぼくはこの1年で身長が12cm伸び、小さく生まれたけどみんなに追いつきました。ぼくは毎日寝る時「今日も楽しかったな〜。幸せだな〜」と思います。小さく生まれた赤ちゃんのお父さん、お母さんに大丈夫だよと伝えたいし、生きているって素晴らしいんだよとみんなに伝えたいです。
ゴトウ ナツミ 後藤 菜都美	42	菊川市	島田市	私は骨髄バンクのボランティアに参加し、今年で15年目になります。ボランティアを行うきっかけになったのは自分が白血病になったことでした。運よく骨髄バンクからドナーさんが見つかり、生きるチャンスをいただきました。骨髄バンクのことを多くの人に知っていただきたいと同時に、感謝とともに生きている元患者さんがたくさんいる事を知ってほしいです。
シオザワ ハルフミ 塩澤 晴文	35	掛川市	掛川市	私はすい体かん体ジストロフィーと言う、目の難病を患っています。2年前、ブラインドテニスと言うスポーツに出会い、色々な方と触れ合えた事で自分から進んで外へ出るようになりました。日本で生まれたブラインドテニスが世界に広がり、いつの日かパラリンピック競技になって欲しいと思っています。その為にも、どんどん外に出て障害があっても楽しく生活が出来ることを知ってほしいと思っています。
スズキ ヒデシ 鈴木 秀俊	46	浜松市	浜松市	30歳のとき、視力を失い、走りたくても走れない状況になり、本気で走りたいと思った。しかし伴走者がなかなか見つからず、走りたくても走れないという日々が続いた。伴走者の存在を多くの人に知ってもらい、共に走る喜びを伝えたい。障害があっても健常者の大会に参加して、共に競い合う楽しさや興奮を味わえる環境を作っていきたい。
タカハシ トシアキ 高橋 俊明	52	袋井市	袋井市	私は袋井市の陸上クラブに所属し、「しずおか市町対抗駅伝」という大会に出場するために、夜間、練習を重ねています。昨年、9年ぶりに正選手として再出場することができました。こんな私ですが、今年の12月に前立腺がんの摘出手術を受けました。来年6月に元気に走ることで、家族や地域の方へ、感謝と病気に負けない心を示したいと思っています。
タカハシ ハルカ 高橋 春華	25	島田市	島田市	3年前に事故で右腕の肘から下を切断しましたが、私はどんな事があってもあきらめず、希望を捨てず、自分らしく堂々と前を向いて明るく笑顔で、毎日過ごしています。私が走る事で健常者と障がい者の差別、偏見の目がなくなり、みんなが暮らしやすい日本、障害有無関係なく平等に明るい日本にしたいと強く思いました。そしてたくさんの方に、勇気や希望、元気を届けたいと思います。
タケダ シズコ 竹田 静子	62	御前崎市	掛川市	8月11日に富士登山をし、山頂で聖火ランナーとして走れるよう、お願いする事を考えながら一步一步進めて登りました。私が走り出したのは44歳、二人の子供達が進学で家を離れた時からです。市民マラソン大会に50回以上出場して来ました。今年は御前崎市の県駅伝スタッフとしのお手伝いもさせていただき、頑張る子供達に感動をもらっています。

静岡県実行委員会選出 オリンピック聖火ランナー 一覧

●走行予定日：【1日目】2021年6月23日（21人）

※走行予定日ごと氏名50音順・敬称略

フリガナ 氏名	年齢 (4月末現在)	ゆかりの ある市町	走行予定 市町	自己PR・応募動機 (※応募時文章を要約。2019年応募時の内容・文体に基づく。)
ヒラタ アヤネ 平田 彩寧	25	磐田市	磐田市	私はオーストラリアでラグビーをプレーしています。クイーンズランド州代表としてプレーさせていただきラグビーでも日本人が通用するということを広めました。コーチの資格、スポーツ栄養士の資格を取得し帰国後地元で生かしたい、さらに大好きなスポーツで選手としての経験、勉強したスポーツマネジメントの知識を生かして今後のラグビーの道をつなぎたいです。
フクナガ マサシ 福永 将	30	磐田市	磐田市	私は磐田市の中学校で保健体育教師をしています。私の勤務する学校がオリンピック教育推進校に指定されていることもあり、教育に携わる者として、オリンピックを肌で感じることでできる絶好の機会であると思います。一生に一度あるかないかの特別なこの機会に、自分が聖火ランナーを務めることで、生徒に夢や希望を与えたいと考えています。このオリンピックが子供たちの背中を押す特別な記憶として彼らの心に残ることを願います。
フジワラ ミオ 藤原 未央	41	菊川市	掛川市	2年前にステージ3の乳がんが発覚し、治療中です。ガン発覚後直後は死ぬかもしれないと不安になりましたが、周りの助けと自分の中の強さで治療をこなしてきたので、ガンで苦しんでいる方がいたら、わたしを見て少しでも大丈夫、生きれる！と思ってほしいです。ガンでは死なない、人は強いとアピールしたいです。
ミキ ツバキ 三木 つばき	17	掛川市	掛川市	私はアルペンスノーボード日本代表として、冬季五輪2022年北京、2026年ミラノを目指して静岡や海外でトレーニングを重ねています。雪の降らない静岡で、私の競技を知ろうとし、一心に取り組むことを励まして下さる日頃の皆さんへの感謝の気持ちをこめながら、スポーツの多様性＝カラフルさを感じていただき、東京五輪をみんなで盛り上げたいです。
モモタ カナコ 百田 夏菜子	26	—	袋井市	
モリタ ヨウコ 守田 陽子	61	浜松市	浜松市	私は20年前、骨髄移植を受けた。病気になり辛かったのは長いスパンで未来を見られなかった事だ。そんな私の励みとなったのは4年に1度やってくるオリンピックである。移植後15年目、がんにもなったが、病気になる3年前から始めていた卓球を前にも増して頑張っている。ドナーになってくれた弟、支えてくれた家族、仲間、私はみんなにありがとうという思いを伝えたい。
ヤマモト ハルキ 山本 晴紀	18	森町	浜松市	私は陸上競技をやっていますが実力的にも年齢的にも、パラリンピックに出るのは難しいのですが、少しでも参加したく聖火リレーに応募しました。車イスで走ることによって、障害者への理解や興味を持ってもらえれば良いと思います。自分自身の経験も広がり、今後の陸上競技等に生かせればと思います。

※各ランナーの走行箇所(スロット)はリレー当日の走行30分前を目途に発表されます。

※この他、東京2020オリンピック聖火リレーパートナー等が選出したランナーが県内を走行する予定です。

静岡県実行委員会選出 オリンピック聖火ランナー 一覧

●走行予定日：【1日目】2021年6月23日 グループランナー（1組10人）

※選出時所属、及び氏名50音順・敬称略

フリガナ 氏名	年齢 (4月末現在)	選出時 所属	走行予定 市町	自己PR (※選出時文章を要約。2019年選出時の内容・文体に基づく。)
オカモト ユウマ 岡本 優真	19	掛川西 高等学校	静岡市	従来主に水中で行われていた、「環境中にある生物のDNAを手掛かりにして、生息調査を行う」という調査手法を空中に応用する研究に励んだ結果、国内の大会で高い評価をいただき、アメリカで行われた世界大会に日本代表として出場することができました。さらに、世界大会でも研究の独創性や応用性が認められ、優秀賞を受賞することができました。地元である静岡県掛川市を中心に地道に活動を続け、遂に世界にまで羽ばたくことができた経験は、一生の宝物です。支えてくださった全ての方々、そして地元への感謝を胸に、東京2020大会の聖火のバトンを繋ぎたいと思います。
ツカモト ソウ 塚本 颯	19			掛川西高校での生活の約半分を、自然科学部員としての研究活動に費やし、空中環境DNAの検出に成功しました。一筋縄ではいかないことも多くありましたが、より多くのデータを集めるために何度も実験を重ね、研究の過程で様々な新しい発見もありました。私たちの研究へ取り組む姿勢や研究の応用性の高さなどが評価され、国内の大会に加え、世界大会でも賞をいただきました。研究成果が認められたことで、貴重な発表の機会に恵まれたことは、研究をしてきた身として、本当に嬉しいことです。研究活動を支え続けてくださった方々と、掛川西高校という環境に感謝を込めて、東京2020オリンピックの聖火を手を走りたいと思います。
ヒダカ ユウタ 日高 裕太	19	静岡北 高等学校	静岡市	高校から自転車競技を始め、約1年半で全国選抜大会とインターハイで優勝し、全国2冠を達成することができました。国体では準優勝に終わりましたが、敗北を通して人間力の向上が競技力の向上につながることを学びました。今後も様々なことに挑戦して人間力に取り組み、競技力の向上に努めたいと考えています。また、新たな目標を8年後のロサンゼルスオリンピック出場に決めました。今回の東京オリンピックには選手としての出場は叶わないので、選手としてではなく一人の人間として、日頃の感謝の気持ちを込めてオリンピック聖火リレーを走りたいです。
アベ ケイスケ 阿部 圭佑	14	静岡聴覚 特別支援 学校	静岡市	僕は、生まれつき耳が聞こえません。二歳の時人工内耳の手術をし、人工内耳、口話、手話でコミュニケーションをとっています。僕は、特別支援学校という狭い環境で育ってきました。六年生の時、担任の先生の「健常者と同じ土俵で競わせたい」という思いから、僕は詩のコンクールに応募しました。思いがけず全国で一位になりました。それが今、僕の自信に繋がっています。障害者という事で線引きされる場面は今でも感じる事があります。そういう事に関係なく、お互い理解し合う社会になって欲しいと思っています。その願いを胸に、精一杯走りたいと思います。
トヨシマ シュウタ 豊島 柊太	19	城南静岡 高等学校	静岡市	現在は高校3年生として、大学進学を目指しています。大学では地元静岡のために役に立てる人になりたいと考えており、一層精進して勉学に励み、公認会計士試験だけでなく、世の中の役に立てるような勉強に取り組みたいです。大学1年生となり、聖火ランナーとして走るときには、世界平和と人類の安全な生活を願って走りたいと考えています。特に今年は多くの自然災害により、犠牲になられた方や被災された方がいます。その方々を笑顔にできるような元気なランニングをして、オリンピック・パラリンピックを盛り上げたいと考えます。
セリザワ ルナ 芹澤 瑠菜	19	沼津特別 支援学校 愛鷹分校 高等部	静岡市	私は知的障害を有しており、卓球でパラリンピック出場を目指しています。現在は強化指定選手として活動しておりますが、聖火ランナーを担うことで一端に参加し、自身の励みにしたいです。平和のバトンを受け渡す聖火ランナーは大役であり、自身が走る姿は期待してくれている家族や周囲の方々に対する感謝のひとつになると考えています。
ウチヤ ショウタ 内屋 翔太	16	吉田 中学校	静岡市	陸上を始めたのは小学二年生からで、吉田ACの練習をみて楽しそうだなという気持ちでクラブに入りはじめました。なかなか速くなれず、リレーのメンバーにも選ばれなかったけれど、6年生の頃リレーのメンバーに選ばれ、全国大会にも出場しました。結果はよくなかったけど、中学生になってまた同じメンバーで全国大会に行ければと思い、中学でも頑張ってみ事に同じメンバーで全国大会に出場でき、新記録で優勝できました。聖火ランナーで走るときは、これまで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを大事に走りたいです。高校生になっても陸上を続けていき、皆の目標になれるような選手になっていきたいです。
オオイシ リク 大石 凌功	16		静岡市	いつかは自分自身が、陸上競技で日本代表として日の丸をつけてオリンピックの舞台に立ちたいと思います。そのためにこれからも一生懸命陸上の練習をしていきたいです。そのために自分の夢や目標に向かって一歩ずつ確実に進めるように努力を惜しまず頑張り、オリンピック代表を目指したいです。聖火ランナーは自分の夢の第一歩だと考えます。
サイトウ リョウマ 斉藤 涼馬	16		静岡市	小学1年から陸上を始めました。中学生になり成長痛で走れない辛い日が続きましたが、後輩や仲間達と励まし合いながら自主練習を重ねた結果、8月の全中リレーでは中学日本新で優勝することができました。いい仲間、いいライバル、いい友達がいる環境で結びついた結果だと思います。周りに助けられ、周りを助け、その先に見える景色がスポーツを通じた輪の精神ではないか。聖火ランナーとして走ることで、多くの人も和と輪の精神を感じてもらいたいです。
タムラ リキ 田村 莉樹	16		静岡市	1964年の東京オリンピックの時、私の祖父も聖火ランナーをやったと聞いています。私は走る事が大好きで、小学校1年から陸上を始め9年になります。楽しい事ばかりではなく、つらく苦しい事もありましたが、一緒に練習している仲間やサポートしてくれる人達がいたから続ける事ができました。その人達への感謝の気持ちを込め、聖火の光をつないでいきたいです。将来、私もオリンピックという舞台に立ち、世界中の人に感動を与えられる選手になりたいです。

※各ランナーの走行箇所(スロット)はリレー当日の走行30分前を目途に発表されます。

※この他、東京2020オリンピック聖火リレーパートナー等が選出したランナーが県内を走行する予定です。

静岡県実行委員会選出 オリンピック聖火ランナー 一覧

●走行予定日：【2日目】2021年6月24日（20人）

※走行予定日ごと氏名50音順・敬称略

フリガナ 氏名	年齢	ゆかりの ある市町	走行予定 市町	自己PR・応募動機 (※応募時文章を要約。2019年応募時の内容・文体に基づく。)
イワサキ キョウコ 岩崎 恭子	42	—	沼津市	私は、憧れである姉の背中を追いかけ、水泳を始めました。沼津スポーツセンターで練習に励み、中学2年生の時にバルセロナオリンピックの出場権を獲得。本番で大幅に自己記録を更新し、当時のオリンピック記録を塗り替えるタイムで金メダルを獲得することができました。その後は、アトランタオリンピックにも出場し、現役を引退。引退後は、米国留学を経験するなど指導という立場で水泳に携わりました。一方、シドニーオリンピック以降の各オリンピックで、競泳日本代表選手たちの活躍をメディアを通して皆様にお届けするなど、伝えるという立場でもオリンピックに携わってきました。そんな、私にとって大きな存在であるオリンピックが日本で開催されることになり、今は、大会の成功に少しでも携わりたいという強い想いを抱いています。その一つが、故郷である静岡県での聖火リレーに参加すること。オリンピックへの想い、故郷への想いを胸に、聖火を運びたいと思います。
ウエタ ココ 植田 心子	13	藤枝市	藤枝市	私は2019年藤枝市の子ども市長です。市長の活動を通して、たくさんの方と知り合い、仲間となり、支えてもらいました。私が聖火リレーに参加することで、スマイルキッズに参加してくれたみんなは、オリンピックをより身近に感じることができると思います。テレビの中のことではなく、より興味を持ち、オリンピックを感じてくれると思います。私も子ども市長として、堂々と聖火リレーに参加したいと思います。
ウエダ ダイ 植田 大	31	牧之原市	牧之原市	私は茶生産者の後継ぎとして6年前に前職を辞め、牧之原市に帰ってきました。現在はお茶農家、また日本伝統技術である「手揉み茶師」になるため技術継承と普及活動をしています。日本茶の興味関心を高める活動も始めました。日本茶生産の未来を担う代表として、来たる茶氷河期に負けることなく、茶生産者と一致団結して乗り越えていく。この気持ちを東京オリンピック2020という世界との繋がりの中で表現したいと考えています。
オオイシ サキ 大石 早紀	29	牧之原市	牧之原市	私は、中学・高校・大学・社会人に至る十数年間、アーチェリー競技に全精力をつぎ込んできました。現在は、手首の故障で選手としての活動は中断しておりますが、今後は、今までお世話になった地元で、生涯スポーツであるアーチェリーを子供達に教えて行ければと思っております。オリンピック選手としての夢はかなえられなかった私ですが、今回聖火ランナーとして、是非、オリンピックに参加したいと思っております。
オオゴダ ユタカ 大胡田 裕	40	沼津市	沼津市	先天性緑内障のため全盲の私が教職を目指すきっかけになったのはスポーツ、とりわけ柔道との出会いでした。トレーニングさえ積めば自分も健常者の中で十分に戦えるという自信と、国籍や障害に関係なく競い合い励ましあえる仲間を得られたことは、私の人生にとってゆるぎない礎になっています。自分から動き出せば理解し応援してくれる人は必ず現れる、勇気を出してチャレンジしてほしい。これが私が教師生活を通じて生徒に伝えていきたいメッセージです。
オノダ マサヒロ 小野田 政宏	54	御前崎市	牧之原市	18歳で「波乗り」に魅せられサーフィン歴35年です。海を愛し、海での活動をくらしの一部としていく中で、サーフィンの技術を向上させること以外にも御前崎ローカルとして出来ることは何かを考え、これまで、毎月第一日曜日に海岸清掃を25年余り続けてきました。東京2020オリンピックの種目にサーフィンが選ばれ、これからの若者の活躍を陰ながら応援したいと考えています。
スギモト シオネ 杉本 汐音	21	焼津市	焼津市	私は、世界中の人々とともに平和な世界を創っていきたくと思っています。高校1年の時に高校生平和大使として国連欧州本部を訪れ、世界に向けて平和への思いを発信しました。また、高校3年間、地元の焼津図書館で平和の大切さを伝えたいと思い、絵本の読み聞かせボランティアとして活動しました。地元を離れた今でも、都立第五福竜丸展示館でより多くの方に第五福竜丸のことを知ってもらえるよう、ボランティアとして活動しています。静岡から世界へと平和への思いをつなぎ、発信していきたいです。
タノコ ユキコ 田所 由紀子	51	長泉町	長泉町	私は現在医師として患者さんの診療をしています。何度も仕事と育児の両立を諦めかけましたが、その時できるベストを尽くすことが大事だと思って頑張りました。そして現在も医師として母として毎日頑張っています。聖火ランナーとして走ることで、娘たち、仕事と育児の両立で悩んでいるお母さんたち、私が今までかわった患者さんたちへのエールを送ることができればと思います。
トキタ イクマ 時田 生馬	23	富士市	富士市	私は生まれつき、裂脳症とてんかんの障害があります。でも地域の小・中学校の普通学級に通学しました。周りの方々が応援してくれたお陰で普通にできることの喜びを感じ、皆と同じ空間で同じ時間を過ごす事のすばらしさを実感しました。私が体験した学校生活のように、地域が共生社会になって欲しいと思っています。障がいがあっても夢を持ちチャレンジし続けたいです。
ナベタ イッセイ 鍋田 一成	18	吉田町	牧之原市	高校生になって陸上部に入り、競技者として軌道に乗り出した矢先に原因不明の足の負傷で走ることができなくなりました。「早くこの足が治って昔のように走りたい。」毎日そう思っています。聖火ランナーは陸上のように速さを競うのではなく、それぞれの思いを聖火に託すものです。競技者としては復帰出来ませんが、勇気と希望を聖火に託して、今できる精一杯の姿で観衆の中を走ってみたいと思います。
ナルシマ ユミコ 成嶋 由美子	57	清水町	沼津市	東京オリンピックの年に沼津で生まれ、三島で育ち、東京の大学で教員免許をとり、地元静岡県清水町にもどってきて教員をしています。日々目の前で目標をもって頑張る子どもたちと素敵な毎日を送っています。自分を信じ頂点を目指すオリンピックのすばらしさを、目標をもって頑張ることのすばらしさを伝えられるように、聖火ランナーとして頑張りたいと思います。
ヒフミ ヒロミ 一二三 裕美	62	三島市	三島市	私は静岡がんセンターに勤務しております。毎日たくさんの患者様が治療に見えます。皆さん、必死に癌と戦っております。私自身も癌患者であり、不思議と4-5年おきに癌が発症しております。2020年の夏、元気でオリンピックを観戦することができ、幸運にも聖火を持って走る自分がいられたら人生最大の幸せを得ることに間違いありません。そして聖火ランナーに選ばれたら、健康に留意し生きていく大きな希望ができます。
フクシマ シノブ 福島 忍	64	藤枝市	藤枝市	私は障害者で日常生活において車いす生活を送っています。スポーツが好きで日本代表にて冬季パラリンピック大会のパラアイスホッケー競技に四回出場し、バンクーバーの大会では銀メダルの獲得をしています。

静岡県実行委員会選出 オリンピック聖火ランナー 一覧

●走行予定日：【2日目】2021年6月24日（20人）

※走行予定日ごと氏名50音順・敬称略

フリガナ 氏名	年齢	ゆかりの ある市町	走行予定 市町	自己PR・応募動機 (※応募時文章を要約。2019年応募時の内容・文体に基づく。)
ベッショ テツヤ 別所 哲也	55	—	牧之原市	2020年 日本人の心に様々な形で刻まれるオリンピックで、故郷 静岡の大地を聖火と共に踏みしめることが出来ます。静岡県島田市に生まれ、藤枝東高校を卒業して慶應義塾で出会った英語劇を通じて俳優の道を志し太平洋を渡り、ハリウッドで映画デビューをするチャンスを頂きました。その後 米国アカデミー賞公認映画祭となる、国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」を主宰することでショートフィルムを通じて国際的に世界中の人々の感性に触れ、人間として多くのかけがえのない体験をさせて頂いています。私は常に「人間は、モノガタル動物である」と考えてきました。オリンピック・パラリンピックで生まれるモノガタリに呼応し、感動の火を日本と世界のミライに繋ぐ！そして静岡の風を世界に届ける！という想いで走れたら幸せです。
ミヤウチ チナツ 宮内 千夏	54	三島市	三島市	平成30年9月28日最愛の夫が58歳で他界。教員生活37年目の中学体育教師だった夫は、卒業式の翌日に倒れ救急搬送。1級障害者になりながら、聖火ランナーになりこんな体でも必死に走っている姿を教え子や若い教員、我が子に見てもらいたいという、その思いを夢とし励みとし病と闘いながら透析を頑張り続けた。私が夫の代役となり思いを繋いで走りたいです。
ムライ マサト 村井 雅人	65	沼津市	沼津市	現在、沼津市スポーツ推進委員連絡協議会会長、合わせて静岡県スポーツ推進委員連絡協議会会長として、スポーツに無縁な市民県民に、如何に身体を動かす事が楽しい事かを知ってもらおう活動を、仲間と共に展開しています。オリンピックの高揚感を大会閉会後まで継続することは、大会のレガシーとして一番大切な事と思う。聖火ランナーとしてスポーツ推進委員の私が走ることは、オリンピック閉会後のスポーツ熱の継続に大きな影響を与えられる事と信じています。
モチヅキ タケル 望月 丈瑠	24	富士市	富士市	私は脳性麻痺の重度心身障害者です。私は、仕事や社会活動などは殆どできませんが、会う人達に笑顔や心の安らぎを与えることができていると思っています。聖火ランナーになって、私達の存在をいろんな方々に知っていただき、様々な障害を持つ人たちが「普通に生きる」ことができるような地域づくりのきっかけになればと思っています。
モチヅキ ヤスシ 望月 保志	46	静岡市	静岡市	自分もモーグルでアスリートを目指し、県の国体選考まで行ったのですが、時間、環境、資金等、壁は厚く残念ながら今に至ります。2020年が東京に決定した時、こみ上げてくるものがありました。アスリートとして叶わなかった夢を聖火ランナーとして叶えたい、五輪参加への気持ちが強くなりました。一次生産者として、聖火を通して、この街の産業に、街の人々に、元気、明るさを発信できたらと思っています。
ヨコヤマ ケンジ 横山 建治	53	函南町	三島市	地元の函南町ではスポーツ少年団の陸上コーチをしていました。小学校に入学したピカピカの1年生が6年経ち中学生に成長していく姿が楽しく微笑ましくて、10年以上もコーチをしていました。キラキラした目をした子供達とそれを見守るスタッフと父母。ふれあいを大切に、勇気と元気をもらっています。2020年オリンピック聖火ランナー、自分も楽しみ、子供達はもちろん、多くの人に素晴らしさを伝えられればと思います。
ラチ マサヒロ 良知 正浩	53	焼津市	焼津市	生まれ故郷である焼津市に3人制プロバスケットボールチームを誕生させる事が出来、更に全国からのチームが集う大会誘致を実現して、焼津漁港が揺れた暑い夏の日。私の熱い思いは構想する事約2年、ついに形になりました。焼津市民の皆様はもとより企業の皆様からも今年は益々ご支援を頂き地域一体オリンピックに向けて盛り上がっています！皆様への感謝を込めて走りたいです！！

※各ランナーの走行箇所(スロット)はリレー当日の走行30分前を目途に発表されます。

※この他、東京2020オリンピック聖火リレーパートナー等が選出したランナーが県内を走行する予定です。

静岡県実行委員会選出 オリンピック聖火ランナー 一覧

●走行予定日：【3日目】2021年6月25日（24人）

※走行予定日ごと氏名50音順・敬称略

フリガナ 氏名	年齢	ゆかりの ある市町	走行予定 市町	自己PR・応募動機 (※応募時文章を要約。2019年応募時の内容・文体に基づく。)
アサカ シゲキ 浅賀 重樹	61	西伊豆町	下田市	私は公立学校の教師として勤めてきましたが、令和3年3月31日に退職を迎えます。私の指導を受け入れてくれた児童生徒に心から感謝の気持ちでいっぱいです。退職後は西伊豆町や西伊豆、伊豆地域の活性化のために頑張りたいと思います。特に児童生徒と地域の方々と結びつけ、街を元気にする活動ができればと考えます。
アライ アジア 荒井 アジア	32	伊東市	伊東市	地元伊東市で陸上クラブを運営し、小・中学生に指導をしているほか、地域の方々と協力してマスターズ大会への参加、市民大会の企画運営にも携わっています。自分自身の取り組みが、スポーツを中心とした大きなコミュニティ作りに寄与することができ、世代や地域を超えてスポーツの楽しさを実感できる環境作りができていると自負しています。聖火ランナーの経験を多くの人と共有し、その経験を多くの子どもたち、地域の方々に伝えていきたいです。
イノ タイヨウ 飯野 太陽	14	松崎町	下田市	静岡県市町駅伝の松崎町小学生代表として平成30年に参加しました。今回聖火ランナーとしてオリンピックに参加して次回以降はいっぱい練習して外国の選手に勝つようになりたいです。そしてオリンピック選手になれるよう頑張りたいです。
イシイ ヒロタカ 石井 裕隆	36	熱海市	伊東市	「熱海の市長になりたいです。」13年前今の職場に面接試験で応えたのを今でも覚えています。私は今35歳、市長になる夢は今はありませんが、熱海の街を自分の生命を使って良くしたいという気持ちは変わらず持っています。聖火リレーのコースに選ばれなかった熱海の名を東京オリンピックに刻みたいという想いと、熱海の代表として走ることでこれからの私の人生をより熱海の街に尽くしていく指針になると感じます。
イシジマ マサカズ 石島 正和	35	東伊豆町	下田市	2019年4月より妻の実家で、妻と一緒に働くこととなり、東伊豆熱川温泉に移住しました。自らの旅館だけでなく、熱川温泉を「お湯も人も溢れかえる」温泉街を目指し、これからの人生を熱川温泉で過ごす決意があります。また熱川温泉の中でも、若手ですので、「熱く目立って尖って」熱川温泉を盛り上げたい。その思いを実現する為に、地域を背負って立つ聖火ランナーとして、「地元 伊豆」を走りたい。
カウ ルリコ 加藤 瑠璃子	36	熱海市	伊東市	私は小学生の頃から、テレビでオリンピックを見るのが大好きで、いつか、メダルをとるんだ！と、オリンピックの舞台や選手達に対する強い憧れと尊敬の気持ちを持っています。現在は、自分が生まれ育った熱海市で市職員として働いており、私がランナーとして参加させていただくことで、友人や職場の人々、地域の子どもたちにも、オリンピック・パラリンピックへの関心をもっと持って頂けるのではないかと思います。
コバヤシ タツヤ 小林 辰也	27	富士宮市	富士宮市	僕は歩行困難で車イス、内部疾患もあります。聖火ランナーに応募したのは、パラリンピック出場の夢を実現する為に頑張っている友の為です。友は双子で夢を追い続けていましたが弟が亡くなり、弟の分まで必死に戦っています。その姿を見て、僕も聖火ランナーとして彼らの希望の道をつなげて行きたいと思ったからです。僕は今まで沢山の人の助けられて生きてきました。聖火ランナーとして走ることによって家族や友人、地域の人達に希望をつなげる人間になれたら嬉しいです。
シノハラ マサトシ 篠原 勝稔	26	伊豆の国市	伊豆の国市	1歳の時に脳性麻痺の診断で、伊豆の国市にある伊豆医療福祉センターのリハビリに通い始めました。日常生活の大半を車椅子で過ごしています。特別支援学校高等部の時に、伊豆の国市の駅伝大会に車椅子で参加し、先生方の協力で走る事が出来ました。聖火ランナーになってお世話になっている皆さんの応援に答えたい、そして運動する事の楽しさを伝えたいと思います。
シミズ ヤスコ 清水 やすこ	65	富士宮市	富士宮市	富士宮市・富士市のコミュニティエフエムの番組ナビゲーターとして、認知症患者と寄り添うみなさんと長年関わりを持って活動しています。市民が中心となって、認知症等の方が、不自由のない地域を作ることが出来れば、私たちの将来につながる素敵な未来が描けるのではないのでしょうか。聖火ランナーを通じて、「認知症の人にやさしい街」を未来につなぐため、富士・富士宮市の認知症の人やそのサポーターの皆さんの思いを背負って走ることができたらと思います。
スズキ カツミ 鈴木 克己	75	下田市	下田市	私は高校3年生の時、1964年の東京オリンピックの聖火リレーの正走者として三島大社先から箱根の登り口までの1.7Kを走りました。大歓声、大声援に支えられ無事先輩に渡すことができました。その緊張感からの解放と喜びは、今でも鮮明に蘇ってきます。その後、中学校の体育教師となり、私が指導した生徒達が、中高校の教師になったり、地域のスポーツ少年団やクラブの指導者として大きな成果をあげ、活躍しているのが誇りで喜び。二度も東京オリンピックの聖火ランナーを勧められたらどんなに素晴らしいことだろうと思います。
セリザワ ナオキ 芹澤 直己	43	御殿場市	御殿場市	農業を営み18年です。その間食育活動や農協青壮年部、消防団活動など街づくりに関心を持ち地元を盛り上げるべく活動してきました。現在は農業経営の傍ら、地元JA御殿場の理事として農業の発展と、農業を通して自然環境の持続的な保全に力を入れています。聖火ランナーとして走るにより、今行っている活動をより広く伝えていけると期待しています。
タカハシ コウダイ 高橋 広大	24	伊東市	伊東市	ぼくは、はしることが大好きで毎日、いえの近くを走っています。走っていると、きんじょの人は「がんばってるね」とおうえんしてくれて、うれしいです。ぼくは2020オリンピックの聖火ランナー走りたいです。そして2020オリンピックをおうえんします。
タシロ ナノハ 田代 なのは	18	御殿場市	御殿場市	私は東京2020オリンピック自転車競技ロードレースコースが通過する御殿場市の高根地区出身です。今は高校で陸上の長距離を一所懸命頑張っています。平成30年度には県市町対抗駅伝の代表に選ばれ、地元の暖かい声援を受け優勝を勝ち取ることができました。今まで応援いただいた地域の方々への感謝とこれからの御殿場市のスポーツ振興に貢献していきたい思いを込め、ランナーとして世界に御殿場市の魅力を発信できるよう精一杯走ります。

静岡県実行委員会選出 オリンピック聖火ランナー 一覧

●走行予定日：【3日目】2021年6月25日（24人）

※走行予定日ごと氏名50音順・敬称略

フリガナ 氏名	年齢	ゆかりの ある市町	走行予定 市町	自己PR・応募動機 (※応募時文章を要約。2019年応募時の内容・文体に基づく。)
チバ マサト 千葉 仁人	14	小山町	小山町	現在、中学1年で陸上1500mの走者として大会に出場しています。長期的目標は日の丸を背負いオリンピックに出場すること。その目標達成の為、中間目標として大学では箱根駅伝の選手として山登り区間を走る事、社会人では実業団選手としてニューイヤーズ駅伝の選手が中間目標。自身の走りで見守ってくれる人に目標に立ち向かう勇気や希望を伝えたい。
ツチヤ マサル 土屋 勝	65	下田市	下田市	幼い頃のまだ目が見えていた頃に、熱中してテレビにかじりついてオリンピックを観戦していたことを、昨日の事に思い出します。目が見えなくても、他の方達と同じように走り、聖火を繋げたいと考えています。また、自分の姿を通して障害を持っている方、人生に困難を抱えている方に勇気を与えたいです。
トリサワ ユウイチ 鳥澤 祐一	43	河津町	下田市	私は、中・高・大学と陸上競技に取り組んできました。その中で、努力や諦めない気持ち、そして仲間との絆の大切さを実感し、スポーツの素晴らしさを肌で感じてきました。そして今は、高校の教員として、そのような経験を活かして次代を担う世代の教育に励んでいます。広くスポーツの素晴らしさやオリンピック精神を周知し、次の世代に希望の火を託していく活動の一端を担えたらと思います。
ナガクラ スミコ 長倉 須美子	58	伊豆市	伊豆市	私は、30年余り教諭として、子供たちの成長を支援してきました。今回、私が走ることで、多くの教え子たちに、いくつになってもスポーツに携わることの素晴らしさを伝えられたらよいと思っています。また、私が走ることで、教え子たちが、夢のスポーツの祭典オリンピックを、よりいっそう身近なものとしてとらえてもらえるとうれしいです。
マスダ サヤカ 益田 紗華	14	裾野市	裾野市	私は中学1年生です。小学生3年生のころお父さんと一緒に見に行ったサッカーで初めてチアリーディングを見て、どうしてもやってみたくなり、サッカークラブのチアリーディングで習いはじめました。私の弟は、大勢と同じ進み方が難しいため、学校で苦勞しているようです。私も友達と一緒にではないので少し寂しいけど、やりたいことが見つければ楽しくなることを伝えたいです。
ミズグチ シゲオ 水口 茂生	62	伊豆市	伊豆市	私が6才の時、東京オリンピックの聖火リレーを見て、「自分も走ってみたいな。」と思いました。あれから55年が過ぎ、その間私は、網膜色素変性症になり、視力を失ってしまいましたが、今は盲導犬イクションがそばにいます。支えてくださった多くの方への感謝と、障害者でも健常者と変わらずに色々なことができるのだということ、そして、まだまだ認知度が低い補助犬のことを知ってもらうためにも、イクションとともに聖火ランナーとして地元を走りたくと思います。
ミツイ チナツ 三井 千夏	40	伊豆の国市	伊豆の国市	永い不妊治療の末にやっと授かった第一子を緊急帝王切開により、2019年8月にそのまま出産した。子供には重い先天性の障害があることがわかったうえ、絶望のあまり生きる気力を失いかけていた。しかし周囲の励ましは私に生きる活力を与えてくれた。子供、そして世界の方々に、生きていることの喜びを伝えたく、感謝の意を込めて、静岡の地で聖火をつなぎたいと思います。
ヤマグチ ジュン 山口 純	36	小山町	小山町	現在は、小山町の小学校に勤務し、昨年度は町が開催都市に決まったことを受け、オリンピック・パラリンピック教育を進めました。「みんなのメダルプロジェクト」への協力を児童と共に校区内の家庭に呼びかけ、3月に行われた町の500日前イベントでは、児童が学んだことを発表し、町民の機運向上に貢献しました。私が聖火ランナーになることで、児童がより大会を身近に感じると思います。
ヤマダ ハルト 山田 晴翔	16	南伊豆町	下田市	僕は、今年の陸上の中体連東部大会の3000mにおいて、14位という成績でした。13位までは県大会に出場できましたが、残念ながら出場できませんでした。決して僕は、才能がある人間だとは思えません。でも、県大会まであと一步の所までこれたのは、陸上を通じて知り合った仲間や練習に付き合ってくれた大人の皆さんのおかげです。僕は地元の人達に感謝し、聖火ランナーとして走りたくです。
ヤマモト アツシ 山本 篤	39	—	富士宮市	静岡県出身のパラスリットであり、日本義足史上初のパラリンピックメダリストになったものとして、静岡県での聖火リレーに参加し、多くの県民や国民に対してオリンピック・パラリンピックムーブメントを起こしていきたいと考えています。多くの方に興味関心を持ってもらい、オリンピック・パラリンピックの成功につなげたいと考えています。
ワタナベ コウタロウ 渡邊 広太郎	19	裾野市	裾野市	私は特別支援学校に通う18才、ダウン症という障害を持って生まれてきました。一般的にダウン症のある人は運動が苦手と言われていますが、二人の姉たちと一緒に小さい頃からバスケットを習い、スポーツが大好きです。今年日本初の知的障害者のピューティーコンテストに挑戦し、一次二次を通過しファイナリストに選ばれました。障害があっても堂々とオリンピックのトーチを掲げ、感謝の気持ちを込めて走る姿を見せたいです。

※各ランナーの走行箇所(スロット)はリレー当日の走行30分前を目途に発表されます。

※この他、東京2020オリンピック聖火リレーパートナー等が選出したランナーが県内を走行する予定です。